

<R5 年度 栃窪小学校 国際科 2 学期評価>

○指導の重点

英語活動を通してコミュニケーション能力を高めたり、自国や他国の良さに気付いたりする中で、心豊かでたくましい児童を育成する。

○学校評価より

	評価項目	(評価方法)・評価基準	評価
成果	(1) いろいろな人(友達や外国の人)と英語を使ってコミュニケーションを図ることが好きになる。 (2) 国際交流会等、外国の人々と関わる活動を通して、自国や他国の文化・伝統などを調べることが好きになる。	(児童・保護者アンケートより) A: 肯定的評価が 80%以上 B: 肯定的評価が 65%以上	児童 (1)B 71.4% (2)A 92.8% 保護者(1)A 83.3% (2)A 91.6%
教育活動	(1) ゲームやインタビューなど、ねらいに応じたコミュニケーション活動(アクティビティー)を取り入れることができたか。 (2) 歴史や文化など、各国の特徴的な内容を取り上げ、外国や日本の違い、よさを感じさせることができた。	(担任) A: 実施した。 B: 実施できなかった。	担任 A
運営活動	(1) ALT との打ち合わせの時間を確保するために、事前に各担任と確認する。 (2) 外国の人と交流する機会を設ける。	(担任) A: 直接打ち合わせができた、交流の機会を設けることができた B: 直接打ち合わせ、交流の機会を設けることができなかった。	担任 A

<考察>

(1) について、肯定的評価は児童 71.4%、保護者 83.3%で B 評価でした。昨年度と比較して数値は下がっており、今後対策が必要である。特に高学年において、英語そのものの難しさを感じている児童が多い。英語の発音や、文法の正誤にこだわらず積極的にコミュニケーションする姿勢を最優先に育てていけるように活動を計画していく。

(2) について、肯定的評価は児童 92.8%、保護者 91.6%で A 評価でした。国際交流会の開催や、外国からの体験入学児童との関わりを通して、様々な国の文化や伝統への興味は高い。この様々な国への興味関心を(1)のコミュニケーションへの意欲につながるように教育活動を充実させていきたい。

○学校評価、学校関係者評価

学校の各種学校行事や施設訪問、校外学習や国際交流や他校との交流活動等様々な教育活動を展開していますが、子どもたちにとって価値ある活動になっていると思われませんか。

そう思う 5 まあ、そう思う 0 わからない 0 あまりそう思わない 0 思わない 0 (肯定的評価 100%)

<考察>

学校運営協議会において、学校評価の結果を公表し意見をいただいた。国際科の活動については肯定的に捉えていただいている。